

平成30年12月期 第1四半期
決算説明資料

1 平成30年12月期 第1四半期決算概要 3

会社概要

平成30年12月期 第1四半期ハイライト

四半期連結損益計算書

四半期連結貸借対照表

2 当四半期の成果、及び今後の課題と対応 12

スポーツ事業 . . . 株式会社ジェイスports

不動産事業 . . . 株式会社シナジー・コンサルティング

Web事業 株式会社フクロウ

1. 平成30年12月期 第1四半期決算概要

商 号	株式会社ジェイホールディングス
本社所在地	東京都港区新橋五丁目14番10号 新橋スクエアビル5階
設 立	平成 5年 1月 25日
代 表 者	代表取締役社長 上野 真司
資 本 金	3 億 6,141万円 (平成 30年 3月末時点)
役 職 員 数	44名 (平成 30年 3月末時点 連結子会社を含む)
事 業 内 容	スポーツ事業 不動産事業 Web関連事業
連結子会社	株式会社ジェイスポーツ 株式会社シナジー・コンサルティング 株式会社フクロウ

1

外部環境

- ✓ 当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和策を背景に企業収益の回復や雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移。
- ✓ 不動産業界
賃貸及び売買市場に関しては、雇用環境と企業業績の改善を背景に好調だった前期の水準を維持。
投資不動産市場に関しては、資金調達方法の多様化や投資対象物件のバリュエーションが拡大していることなどを背景に投資資金が流入する状況が継続しており、引き続き良好な環境と認識。
- ✓ インターネット業界
ブロックチェーンや人工知能などの先端IT技術の研究によって、日常生活への活用と普及が進むことにより、更なる需要の拡大が期待。

2

当社グループのセグメント概況

- ✓ **スポーツ事業**
東山田店は、施設売上は増加したものの、スクール会員数の減少、イベント収入の減少により減収減益。
つかしん店は、施設売上が減少したことにより減収となったものの、費用削減策が奏功し増益。
- ✓ **不動産事業**
一棟物不動産販売事業を主たる業務としつつ、同時に区分所有不動産販売事業、区分所有不動産仲介事業等を行う。加えて、一棟物不動産仲介事業等についても強化し、人員増強を含めた経営資源の積極投入を行った。その結果、前年同期比で減収となるものの（セグメント売上高330百万円、対前年同期比63.6%減）大幅な増益を実現（セグメント利益16百万円、対前年同期比312.7%増）。
- ✓ **Web事業**
美容医療に関するポータルサイト事業は、引き続き高い収益性を確保。

(1) 四半期損益計算書【連結】



不動産事業の減収が影響しグループ全体で減収となるものの、収益性は改善
売上の拡大とともに、収益性のさらなる向上が課題

(単位：千円)

	平成29年 第1四半期		平成30年 第1四半期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前年比
売上高	972,713	100.0%	386,287	100.0%	39.7%
売上原価	894,600	92.0%	252,224	65.3%	28.2%
売上総利益	78,112	8.0%	134,063	34.7%	171.6%
販管費	78,571	8.1%	129,447	33.5%	164.8%
営業利益	△458	△0.0%	4,615	1.2%	-

※平成29年第1四半期の連結損益計算において、「販売費及び一般管理費」に含めて表示していた「支払手数料」のうち不動産売却仲介手数料3,000千円は、「売上原価」として組み替えております。

(2) 四半期損益計算書【株式会社ジェイスポーツ】



**スポーツ事業：東山田店は減収減益、つかしん店は減収増益
両店舗とも売上の拡大が急務**



(単位：千円)

	平成29年 第1四半期		平成30年 第1四半期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前年比
売上高	25,945	100.0%	25,107	100.0%	96.8%
売上原価	18,516	71.4%	17,720	70.6%	95.7%
売上総利益	7,428	28.6%	7,387	29.4%	99.4%
販管費	1,716	6.6%	1,593	6.3%	92.9%
営業利益	5,712	22.0%	5,793	23.1%	101.4%

(3) 四半期損益計算書【株式会社シナジー・コンサルティング】

不動産事業：減収増益（P14参照）

(単位：千円)

	平成29年 第1四半期		平成30年 第1四半期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前年比
売上高	907,628	100.0%	330,004	100.0%	36.4%
売上原価	865,763	95.4%	224,788	68.1%	26.0%
売上総利益	41,864	4.6%	105,215	31.9%	251.3%
販管費	37,790	4.2%	88,400	26.8%	233.9%
営業利益	4,073	0.4%	16,814	5.1%	412.7%

※平成29年第1四半期の連結損益計算において、「販売費及び一般管理費」に含めて表示していた「支払手数料」のうち不動産売却仲介手数料3,000千円は、「売上原価」として組み替えております。

(4) 四半期損益計算書【株式会社フクロウ】

Web事業：高収益性を維持、新規分野への参入を実現化へ

(単位：千円)

	平成29年 第1四半期		平成30年 第1四半期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前年比
売上高	39,139	100.0%	31,175	100.0%	79.7%
売上原価	10,319	26.4%	9,715	31.2%	94.1%
売上総利益	28,819	73.6%	21,459	68.8%	74.5%
販管費	2,491	6.4%	1,633	5.2%	65.6%
営業利益	26,328	67.3%	19,826	63.6%	75.3%

(5) 四半期貸借対照表【連結】



利益額の増加等に伴い、純資産額、自己資本比率（※）が上昇
財務体質の改善が進行中

(単位：千円)

	前期 平成29年3月31日	当期 平成30年3月31日	対前年 3月末比		前期 平成29年3月31日	当期 平成30年3月31日	対前年 3月末比
流動資産	105,595	225,087	213.2%	流動負債	45,613	85,570	187.6%
固定資産	98,161	122,303	124.6%	固定負債	65,650	8,780	13.4%
資産合計	203,756	347,391	170.5%	負債合計	111,263	94,351	84.8%
				純資産	92,492	253,039	273.6%

※自己資本比率

27.8% (平成29年3月末)

→ 63.0% (平成30年3月末)

2. 当四半期の成果、及び今後の課題と対応

1 当四半期の成果

- ✓ 東山田店は、施設売上は増加したものの、スクール会員数の減少、イベント収入の減少により減収減益。
- ✓ つかしん店は、施設売上が減少したことにより減収となったものの、費用削減策が奏功し増益。
- ✓ 結果、当セグメントは減収（前年同期比△3.2%）増益（同+1.4%）。

2 今後の課題と対応

- ✓ 「東山田店」「つかしん店」において、顧客基盤の拡大を急務として、スクール会員数、集客の増加を図り、
セグメント収入、収益の改善を目指す。

1 当四半期の成果

- ✓ 前第1四半期には比較的規模の大きい1棟物不動産の販売があったのに対して、当第1四半期にはなかった。
そのため、売上高は前年同期比63.6%減の330百万円となったが、前第2四半期から、不動産販売だけでなく、不動産売買の仲介業務にも注力したことにより、営業利益は前年同期比312.7%増の16百万円となった。

2 今後の課題と対応

- ✓ 金融機関との連携の強化、人員補強による営業体制の強化に伴い
案件件数、成約件数のさらなる増加を図る。
- ✓ 物件の仕入、及び販売ルートが多様化を図るために、同業他社や不動産ポータルサイトとの連携を推進し、
売上高、及び営業利益ともに過去最高額を目指す。

1 当四半期の成果

- ✓ 当四半期は引き続き美容医療分野を対象としたポータルサイトの運営により安定した売上高、及び利益率の高い収益を確保。

2 今後の課題と対応

- ✓ 当社不動産事業部門と連携した不動産関連情報提供のためのWebアプリ開発、運営による早期事業化の実現。
- ✓ 先端IT技術の発展により拡大が予想される新たな分野への参入を実現化。



【将来見通しに関する注意事項】

本資料には、株式会社ジェイホールディングス及び子会社の将来についての計画、予測を含む記載が含まれています。これらの計画、予測は、リスクや不確定要素を含んでいることから、実際の業績は様々な要素により当社の計画、予測と大きく異なる可能性があります。

【本資料に関するお問合せ】 株式会社ジェイホールディングス 管理本部

TEL:03-6430-3461 E-mail:info@jholdings.co.jp